

長野県ことばの会の活動記録

著者	ことばの会事務局
出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究 9: 38(1997)
発行年月日	1997-12-15
URL	http://hdl.handle.net/10091/00022419

第8号以降の長野県ことばの会の活動は次の通りです。

第35回研究発表会

平成8年11月10日午後1:30~4:00

松本中央公民館（長野県松本市大手3-3-1）の和室

1. 文字史から見た「世尊寺本字鏡」 樋口悟史
2. ことばの地域差と世代差－三重県伊勢・伊賀地方境界領域について 谷口裕正
3. J I S 漢字とは何か 池田証寿

第36回研究発表会

平成9年2月16日（日）午後1:30~4:30

松本中央図書館第一視聴覚室（松本市蟻ヶ崎2-4-40）

1. 日本語における婉曲表現 榎本瑞穂
 2. 木曾谷のアクセント 島田誠
 3. 読むための辞書と書くための辞書 本間貴
- 講演 『和字正濫鈔』の理論構成－「いろは歌」から「五十音図」へ－
釘貫 亨

第37回研究発表会

平成9年10月10日（日）午後1:30~3:30

松本市駅前会館第二会議室（松本市深志2-3-21）

1. 沖縄における言語意識 藤崎雅栄
2. 伊賀・近江境界地域の言語伝播 谷口裕正
3. 日本語研究における喚体の論理とその射程 石神照雄